



ハテマロ会

復興支援活動報告

2020年09月30日

ハテマロ会復興支援方策

2015年4月25日のネパール大地震以降、主に以下の三つの復興支援方策を実施

① 地域の文化財の再建

- ・ チャンデソリ寺院境内の集会室の修復・修理
- ・ チャンデソリ寺院境内のマハデヴ寺院（2018年に政府による再建が決定）
(一部支援金提供、専門家による耐震技術アドバイス支援)
(カーブレ・パンチヨーク郡、バネパ街)

② 笑顔を届ける支援

- ・ スリークセル中等学校の補助教室の建設
(ラリトプール市、グセル村)
- ・ 被災地の手工芸品購入による支援

③ 映画による復興支援

- ・ 伊藤敏郎監督によるネパール映画へ全面協力することにより、
日本でのネパール震災周知に努め、支援協力を促した
(日本撮影でのエキストラ出演、上映会・報告会・イベント等の実施協力)

ハテマロ会復興支援方策の現状

① 地域の文化財の再建

- ・ チャンデソリ寺院境内の集会室の修復・修理
- ・ チャンデソリ寺院境内のマハデヴ寺院（政府による再建）
(一部支援金提供、専門家による耐震技術アドバイス支援)
(カーブレ・パランチョーク郡、バネパ街)

② 笑顔を届ける支援

- ・ スリーグセル中等学校の補助教室の建設
(ラリトプール市、グセル村)
- ・ 被災地の手工芸品購入による支援

③ 映画による復興支援

- ・ 伊藤敏郎監督によるネパール映画へ全面協力
(製作映画の上映会・報告会・イベント等の実施協力)

支援活動完了

2017年12月30日にて、支援活動完了

チャンデソリ寺院境内の集会室の
修復・修理及び楽器・書類棚の提供が完了

2020年08月31日にて、支援活動完了

チャンデソリ寺院境内のマハデヴ寺院の
再建が完了(政府による再建)

2017年12月30日にて、支援活動完了

スリーグセル中等学校の
補助教室の建設が完了

チャンデソリ寺院境内の集会室 (Bhajan Ghar)の修復・補修

復興活動①-1

修復・補修前の様子



修復・補修前



集会室 (Bhajan Ghar)の修復・補修及び楽器・書類棚の提供完了

復興活動①-1

修復・補修後の様子



集会室 (Bhajan Ghar)の修復・補修及び楽器・書類棚の提供完了

復興活動①-1

修復・補修活動の様子



今回修復した集会室でのバジヤン(神を讃えて歌う歌の演奏)の様子

復興活動①-1

修復・補修活動の様子



集会室の修復完了後にチャンデソリ寺院にてミニ上映会の様子

復興活動①-1

修復・補修活動の様子



チャンデソリ寺院境内のマハデヴ寺院 地震前と地震後の再建状況(政府による再建)

復興活動①-2

地震前

2007/03

再建完了

2020/09

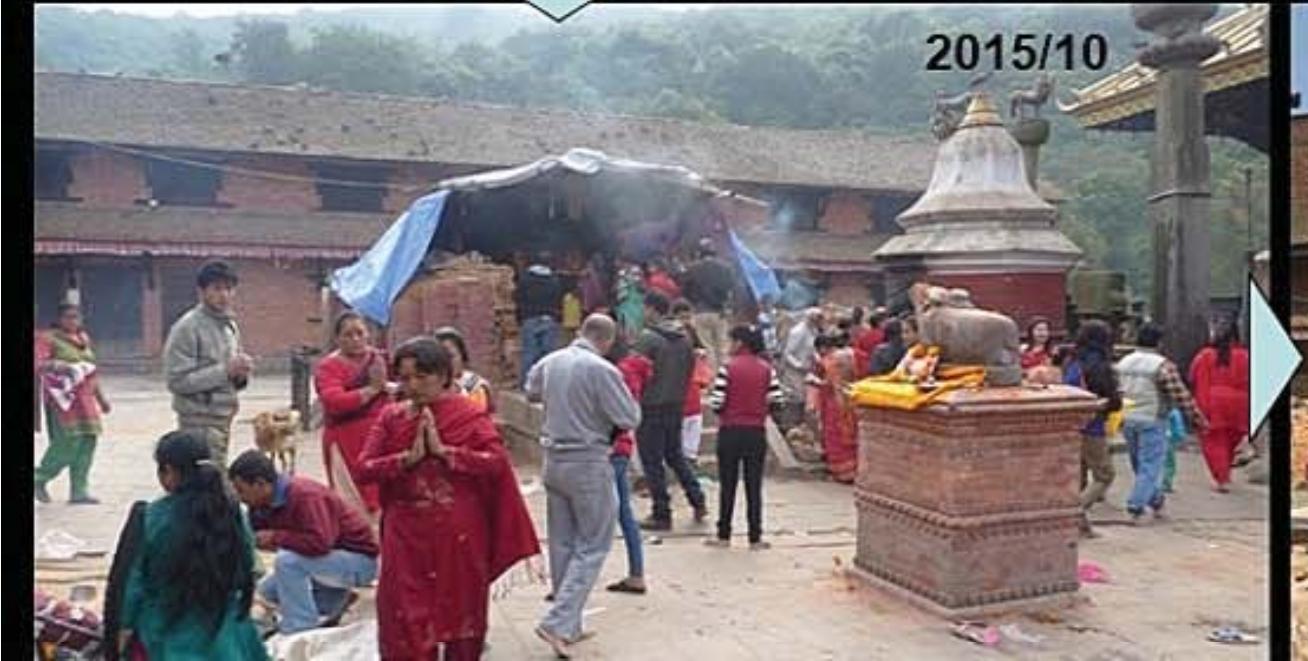
2020/03



2015/10

2019/03

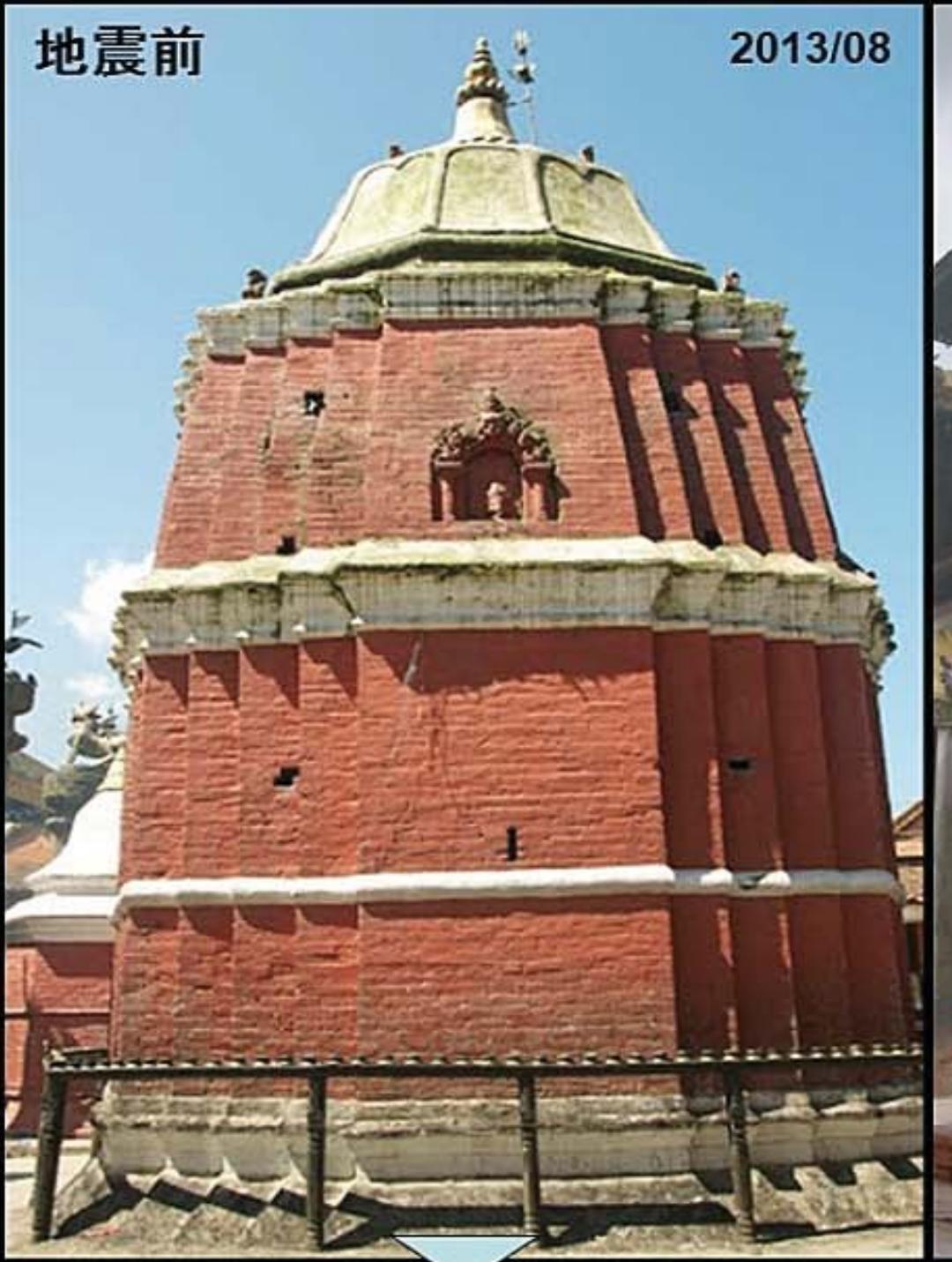
2019/11



チャンデソリ寺院境内のマハデヴ寺院 地震前と地震後の再建状況(政府による再建)

復興活動①-2

地震前



2013/08

再建完了



2020/09



2020/03



2017/05



2019/03



2019/11

スリーグセル初等中等教育学校の補助教室の再建

復興活動②

再建前の様子



再建前



スリーグセル初等中等教育学校の補助教室の再建完了

復興活動②



再建後の様子

スリーグセル初等中等教育学校の補助教室の再建完了

復興活動②

再建後の様子



ハテマロ会復興支援活動の長期的支援継続の方策

① 地域の文化財の再建

- ・ チャンデソリ寺院境内の文化財再建の長期的支援継続

— 支援金をチャンデソリバajan マンダール
(Chandeshwori Bhajan Mandal)
「チャンデソリ寺院運営協会」に寄付金を送金

— 3名の代表者名義による銀行口座開設

— ハテマロ会からの寄付金を基金とし、基金の
資本金は崩さずその利子のみで活動を行う

— 利子額の使途：参加者にお茶・軽食(Prasad: お供え物
のお下がり)を提供、パジャングループの移動経費、
文化イベント、寺院境内の修復、楽器のメンテナンス等費用

長期的支援継続



主な活動内容: 定例バジyan(神を讃えて歌う歌)

- ・毎朝、神を讃えて歌う歌(バジyan)を合唱



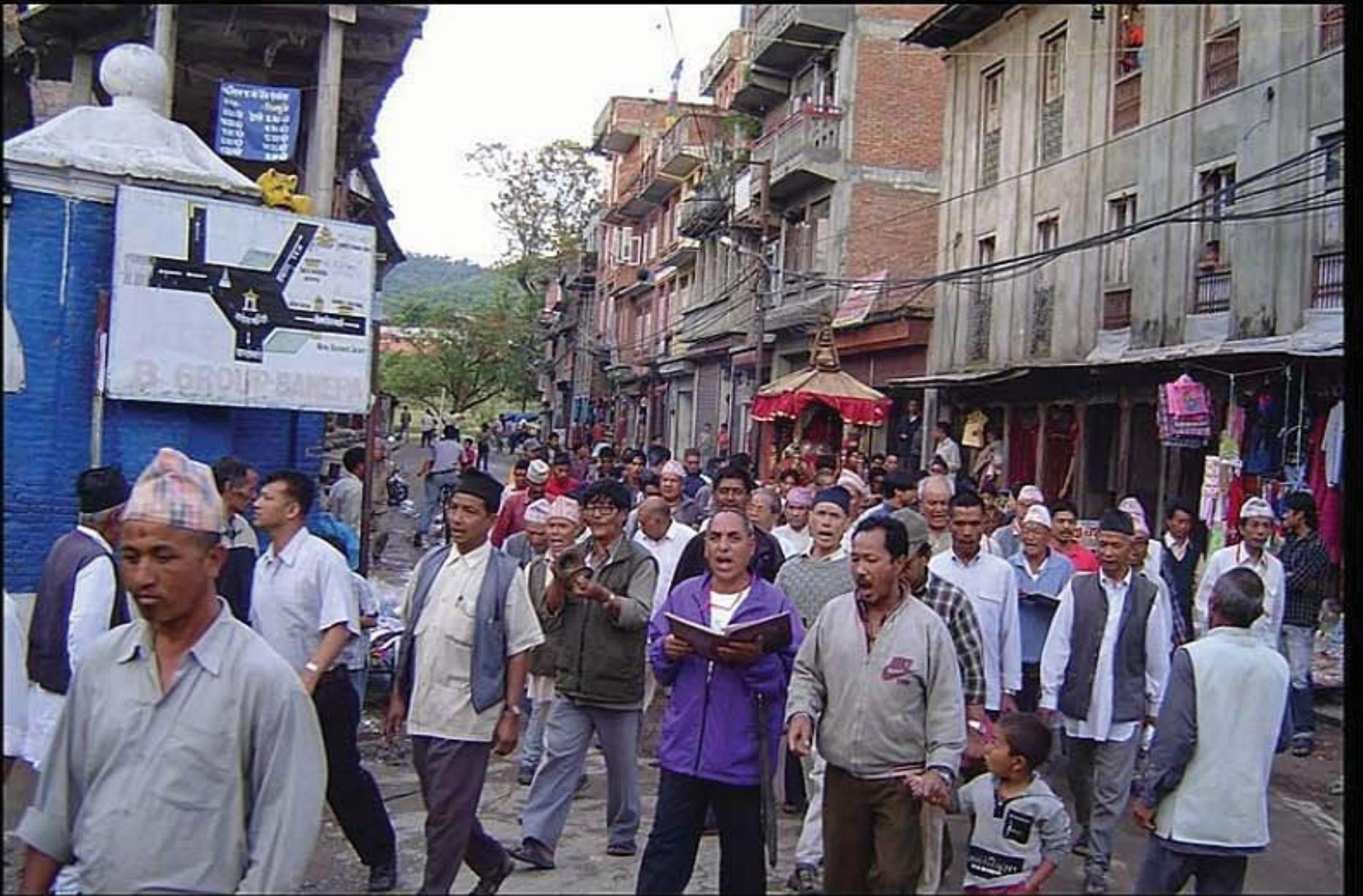
主な活動内容: 定例バジヤン(神を讃えて歌う歌)

- ・バジヤン・巡拝の参加者全員にお茶・軽食
(Prasad: お供え物のお下がり))を提供



主な活動内容: 祝祭日に街を巡拝

- ・祝祭や伝統的な特別な日に街を巡拝



主な活動内容:出張バジyanによる他の街との交流

・他の街に出向きバジyanを通して交流

他の街(カトマンズ、パタン、バクタプル、サンク、チャングナラヤン、ドゥムザ、バラビセ、パンチュカル、マナカマナ、バラタプル、ソルガドアル、ポカラ等)に出向きバジyan、地元住民との交流
(基本的に、バスを貸し切り、楽器・機器と共に移動)。



主な活動内容:清掃プログラム

- 定期的に寺院境内の清掃プログラムを実施



主な活動内容:交流イベント

- ・新規メンバーを交えての交流イベント



主な活動内容: イベント企画、情報交換等

- ・祝祭、バージャン、巡拝等の様々なイベントに関する情報・意見交換



コロナ禍中のバジ ян、イベント自粛

- ・自宅でバジ янの練習
- ・自宅からバジ янを配信



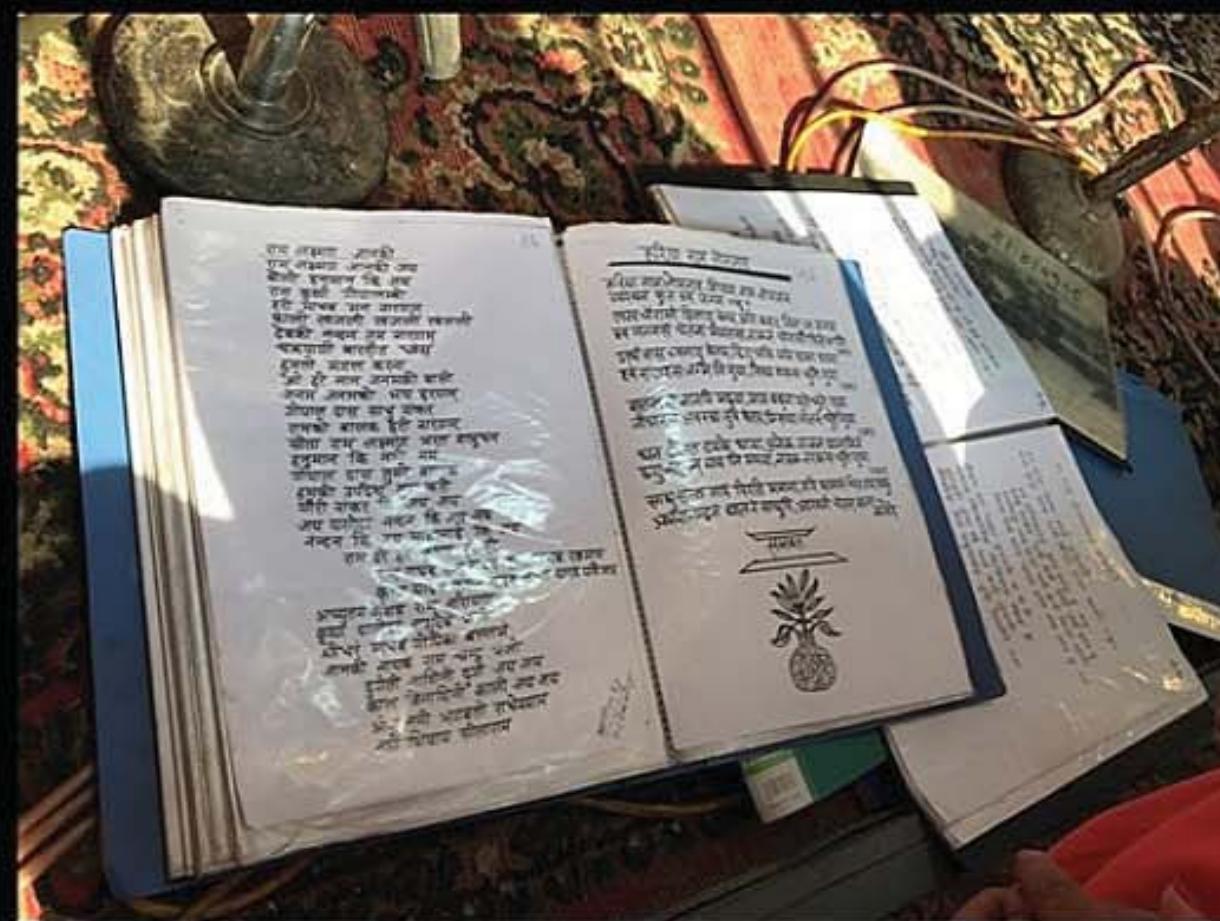
チャンデソリ バジヤン マンダール「チャンデソリ寺院運営協会」からのコメント・感謝の言葉

ハテマロ会からの支援前の状況

- ・参加人数が少なく18名しかいなかつた。
(男性15名、女性3名)
- ・不定期に参加する人が多かつた。
- ・バジヤン・活動の継続についてかなり不安があつた。
- ・楽器・機器の保管場所もなかつた。
- ・手書きのバジヤン歌詞集(神を讃えて歌う歌詞をまとめたもの)
等の重要資料の保管・手入れが行き届かず、だんだん失われ
ていく状況であった。



2014年02月



チャンデソリ バジャン マンダール「チャンデソリ寺院運営協会」からのコメント・感謝の言葉

ハテマロ会からの支援後の現状

- ・参加人数がだんだん増えて現段階では50名。
(男性25名、女性25名)
- ・毎朝のバジャンに参加する人が多くなった。
- ・活気が戻ってきた。
- ・皆が集まり交流、意見・情報交換を行う機会が多くなった。
- ・寺院や地域関連の多くの活動やイベントが企画できた。
- ・楽器、機器、手書き書類、バジャン歌詞集を保管しやすくなった。
- ・他の街からも声が掛かることが多くなった。
- ・今後も周辺の街と出張バジャンを通して交流を深めていきたい。



復興支援を通してのまとめ・感想

- ・ネパール大地震直後に、「日本をきれいにin 上野」清掃募金活動から始まり、現地視察調査を得てからの緊急支援、そして、様々な地域での現況報告会、上映会、イベント・交流会を実施してまいりました。
- ・これらの地道な活動を続けながらも、2017年12月末に以下の二つの支援活動を完了することができました。
 - －チャンデソリ寺院境内の集会室の修復・修理及び楽器・書類棚の提供
 - －スリーグセル中等学校の補助教室の建設
- ・会の方策の一つである「地域の文化財の再建」として、「チャンデソリ寺院境内の文化財再建の長期的支援」を継続しています。
- ・長期的支援を継続することで、結果的には、代々受け継いでいる地域の一つの文化を守ることに繋がったと考えています。
- ・地域の活動に女性の参加者がだんだん増えていることは何より大きな成果だと思っています。
- ・他の街との交流も増え、さらに、復興活動もだんだん進んでいくことを大いに期待しています。
- ・近年、文化や伝統が次々と消えつつある中、この小さな復興支援が地域の活気や交流、住民の希望に繋がり、皆様の支援が確かな社会貢献になっていると実感しております。

言葉では感謝をしきれないと思っておりますが、
ご支援・ご協力をいただいた多くの方に心より感謝を申し上げます。
引き続き、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。

ハテマロ会一同
2020.09.30